

登録医ニュース

メタセコイア

第48号
2019.4

編集・発行/東北医科薬科大学病院 総合医療支援センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携室直通) Fax(0120)25-9121(医療連携室直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

新大学病院棟誕生 ~ごあいさつ~

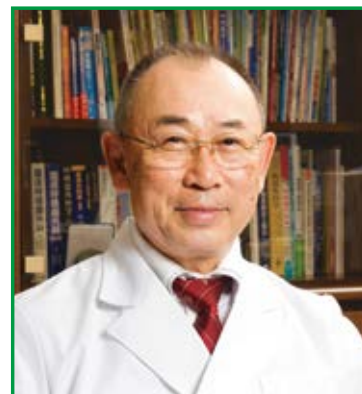
たかやなぎ もとあき
高柳 元明東北医科薬科大学 理事長・学長
医学博士。専門は内科学（呼吸器・アレルギー）。現在、日本私立大学協会副会長、日本高等教育評価機構理事。

この度、昨年の教育研究棟に引き続き、福室キャンパス内で整備が進められておりました新大学病院棟の竣工式、定礎式が、去る1月29日にあり、皆様方に披露できますことは本学にとって大きな喜びであります。関係各位の皆様のご支援ご協力に深く感謝を申し上げます。

新大学病院棟は148床と大きくはありませんが、免震構造からなり、最新の医療設備機器をそなえ、大学病院としてこれまで以上に高度先端医療を提供できる体制になりました。本院のほうは、まだ改修工事が進められておりますが、全体として600床を超える医学部附属病院としての基準を満たすものとなります。

医学部1期生は4月より4年生になり、夏休み前の共用試験をへて、いよいよ附属病院等での臨床実習を体験することになります。これまでの座学中心の学習から、病に悩む患者さんと直接向きあうことにより、医師になる自覚、覚悟が一段と強固なものになり、また、人間として大きく成長し、臨床実習が一生忘れられない経験となるに違いありません。

このたびの東北医科薬科大学病院新大学病院棟の完成により2019年4月に病床数が88床増えて554床となりますが、最終的にはさらに616床まで増床することが可能な病院となり、名実ともに大学病院としての体裁が整ったと言えます。また、病床数の増加のみでなく、手術室が従来の7室からハイブリッド手術室など最新の設備を整えた9室に増えるとともに集中治療室が8床から14床、血管撮影室が2室から3室に増えてそれぞれ最新の機器が導入され、さらに放射線治療室の強化もはかれ、診療の質の面においても大きく向上します。東北医科薬科大学病院としてスタートして以来3年間で、様々な指標によれば診療の規模が20%から70%程度拡大していますが、求められる需要にはまだまだ対応しきれていません。今後は、従来の病院棟を改修しつつ新大学病院棟の機能を存分に発揮して一層の対応力の強化に力を尽くして参りたいと考えております。

こんどう たかし
近藤 丘東北医科薬科大学病院 病院長
医学博士。専門は呼吸器外科学。

新大学病院棟(新館)148床



開放的な
スタッフ
ステーション



清潔感あふれる
病室

新大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含め手術室 9 室のほか、リニアックなど高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。病床数は ICU14 床を含め 148 床で、既存病院と合わせた病床数は 554 床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うこととなります。

8F	機械	屋外機置場
7F 46床	消化器外科(32床) ※肝胆膵外科を含む 泌尿器科(14床)	研修
6F 46床	循環器内科(34床) 心臓血管外科(12床)	研修 心リハ室
5F 42床	レディース病棟 産科個室(4床) 乳腺・内分泌外科(12床) 婦人科(22床) 消化器外科(4床)	研修
4F	手術室(9室)	中材
3F	研修	手術緒室 病理
2F 14床	ICU 救急科(2床) 共通ベッド(12床)	血管造影 ME
1F	放射線治療	画像診断 放射線科 外来

脳神経外科について

脳神経外科 教授 佐々木達也 さ さ き たつ や



東北医科薬科大学の脳神経外科は平成 30 年 4 月 1 日に開設され、初年度は准教授：林 俊哲、助教：庄司拓大と 3 名でのスタートとなりました。外来診療は 4 月から開始しました（写真 1）が、患者さんは未だ少い状況です。当院の前身である東北厚生年金病院には脳神経外科がなく、手術の準備もゼロからのスタートでした。

手術関連の機器の準備、手術室・病棟ナースの教育などを行い、昨年 7 月に定期手術を開始しました。手術用顕微鏡は最新の KINEVO 900（写真 2）を使用しておりますし、神経機能の術中モニタリング（写真 3、4）も駆使して安全な手術を提供したいと考えております。術中モニタリングとは全身麻酔科下においても運動機能や視機能を把握し、安全な手術を可能にする方法です。新病院棟は本年 1 月に竣工し、4 月から使用可能になります。新病院棟には新しい手術室、新しいバイプレーンの脳血管撮影室も整備されます。現在 8 床の病床も 15 床に増えますが、病棟は旧病院棟に残る予定です。定時手術は可能になりましたが、急患を含む臨時手術の体制が不備でご迷惑をおかけしております。本年 4 月からは徐々に救急体制を整えある程度救急患者も受け入れられるものと考えております。

当科の役割は大きく 3 つに分けられます。1 つは新しい大学での脳神経外科学の学生教育です。昨年、3 年生になった一期生の臨床講義が始まりました。国家試験を意識したわかりやすい講義を心がけています。本年 10 月からはその一期生の臨床実習も始まります。脳神経外科の魅力を分かり易く教えたいと思っています。2 つ目は地域医療に貢献できる若手脳神経外科医の育成です。これからの脳神経外科医は血管内治療や神経内視鏡もできる脳神経外科医が望まれます。3 つ目は多賀城市、塩釜市を含む仙台市の東側の地域医療の充実であります。新生児から高齢者まで、脳神経疾患全般にわたり最新の治療を提供いたします。病院の救急体制が整い次第、脳卒中や頭部外傷など救急患者に対しては 365 日 24 時間体制で臨む予定で、患者さんおよび御家族のための脳神経外科疾患治療に日々努力いたします。

皆様には暖かいご支援を賜ります様、お願い申し上げます。



写真 1：外来診療開始
左から林医師、佐々木教授、庄司医師、大友看護師



KINEVO 900（世界最新）

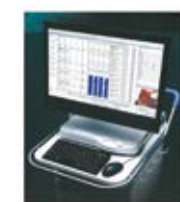
写真 2：手術用顕微鏡



手は動くのか・目は見えるのか

手を動かす脳
ものを見る脳
手の筋の反応
視覚の反応

写真 3：神経機能の術中モニタリング



ニューロマスターG1(32 Ch)
(世界最新)



現在第2版改訂中
(2019年5月発行予定)

写真4：安全な手術をめざした術中モニタリング

脳神経外科の紹介

脳神経外科 准教授 ^{はやし としあき} 林 俊哲

脳神経外科では大きく頭蓋骨を外して手術を行う開頭手術が主流でしたが、近年の技術の進歩により患者さんの侵襲を少なくして手術を行うことが可能となっています。侵襲とは医療において体に加わる傷害のことを意味します。その代表が外科手術です。その影響を最小限に抑える工夫をしています。生命や麻痺などに関わる疾患においては現在ある症状の改善、将来にわたって症状が出ないように予防するために如何に治療を行うかが大切です。また、生命に関わることはないが日常生活に影響する疾患については可能な限り“侵襲を小さくし”（写真1、2），“術後の回復が早い”手術が望まれます。疾患の状態をしっかりと把握し、患者さん・ご家族とよく話し合った上で“患者第一”の立場から最良の治療法を選択します。

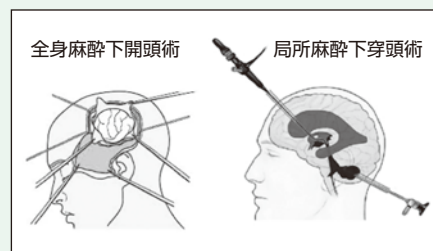


写真1：脳神経外科手術では全身麻酔下で頭蓋骨を外す開頭手術が行われますが、局所麻酔下で小さな穴から内視鏡を用いた穿頭手術も可能になってきています。

手術支援

脳神経外科手術では大切な脳や神経を障害しないために手術中に様々な検査を行い手術後に神経症状が起こらないように細心の注意を払っています。当科では手術中の神経症状を最新の機械を用いて常にモニターして（写真3）、合併症をゼロにする努力を行っています。

診療のご案内

幼児から高齢者まで幅広く診療いたします。脳神経外科専門医、脳卒中専門医、脳卒中外科技術指導医、血管内脳神経外科専門医、小児神経外科認定医、神経内視鏡技術認定医、などの専門の資格もあり幅広い専門分野に対応します。



写真2：血管の再建も皮膚を切開する直達術だけでなく、血管の中からカテーテルを用いてステントを留置する手術も可能になっています。

主な疾患

- 脳血管障害（くも膜下出血、未破裂脳動脈瘤、脳内出血、脳梗塞、小児・成人もやもや病、血管奇形、その他）
- 頭部外傷（外傷性頭蓋内出血、脳挫傷、など）
- 脳腫瘍（適切な治療法を提示いたします）
- 眼瞼けいれん、三叉神経痛など機能的疾患
- 小児先天性疾患（水頭症、二分脊椎、頭蓋顔面異常、など：成人以後の相談を希望される場合にも対応）

患者さんの住んでおられる地域の医療施設と緊密に連携し、必要な紹介や逆紹介を適切に行います。また、紹介いただいた患者さんについては治療が終了した後でも、症状の変化や悩み・相談などに丁寧に対応いたします。

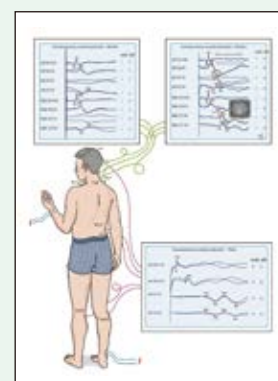


写真3：神経機能の術中モニタリング

連携室からのお知らせ

2019年地域連携のつどい開催のお知らせ

日頃の感謝と登録医の先生方との意見交換の場として、地域連携のつどいを開催いたします。
ご多忙な折とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。
なお、参加申込みは6月頃にご郵送いたします。

- **日時** 2019年9月13日(金) 19時から21時30分
- **場所** ホテルメトロポリタン仙台 4階「千代」
- **次第** [第1部] 19時から20時 診療科紹介
[第2部] 20時から21時30分 交流会

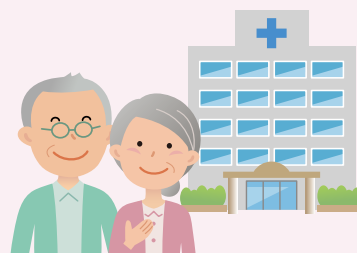
仙台市胃がん検診 胃内視鏡検査の実施について

当院では2019年度より仙台市胃がん検診を実施いたします。
当院で検診希望の方がおりましたらご本人から連携室までお電話をいただければ予約をお取りいたします。
ただし、当院の内視鏡は経口のみで経鼻は行いませんのでご了承ください。



東北医科薬科大学病院 第1回市民公開講座のご案内

- **日時** 2019年7月7日(日) 13時開場 13時30分講演
- **場所** 東北医科薬科大学 プラタナスホール
- **テーマ** 認知症の予防と診断と治療
- **講師** 東北医科薬科大学 総合診療科 教授 古川勝敏 先生
予約の申し込みは不要です。



新天皇即位に伴う休診のお知らせ

新天皇即位に伴う当院の対応についてご連絡いたします。
ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程、何卒よろしくお願いいたします。

休診日 4月27日(土)～5月6日(月)

～新大学病院棟ができるまで 第8回～

2019年4月 新大学病院棟誕生

新病院棟の内部動画を公開いたしました

2019年3月7日（木）～8日（金）の2日間において新病院棟の内覧会を開催いたしました。多数のご参加ありがとうございました。

なお、新病院棟内部動画は病院ホームページのトップページ

新着情報 2019.3.13 **お知らせ** **【動画あり】新館の内覧会を開催しました** で見ることができますのでぜひご覧ください。



【東北医科薬科大学病院ホームページ】
<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp>



●2018.10.30
現在、新大学病院棟の外装工事が完了し足場を解体しています。内装については、仕上げ作業を行っています。また、付属棟等についても順調に工事が進んでいます。



●2018.11.30
新大学病院棟工事は、引き続き内装工事を行っています。また、外部足場解体作業も完了し外構工事が始まりました。



●2018.12.27
新大学病院棟工事は、引き続き内装工事及び外構工事を行っています。建物周辺においては、後片付けが進み完成が近づきました。



●2019.1.30
新大学病院棟工事は、竣工検査を経て1月末に竣工いたしました。